



# ガレース<sup>®</sup>G

麦畑  
これでスッキリ!!

これらの雑草にシャープな効果を示します。



スズメノテッポウ



スズメノカタビラ



ナズナ



タネツケバナ



ハコベ



ノミノフスマ



ノボロギク



ヤエムグラ

殺草範囲の広い麦用除草剤

# ガレース<sup>®</sup>G

製品情報は  
こちらから



# これでスッキリ!! 麦畠 ガレース<sup>®</sup> G

農林水産省登録 第19880号  
●成 分：ジフルフェニカン…0.15% 除草剤分類 12  
トリフルラリン……2.0% 除草剤分類 3  
●性 状：淡黄色細粒および微粒  
●毒 性：普通物(毒劇物に該当しないものを指す)  
印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

## ■適用雑草と使用方法 (2022年5月現在の登録内容)

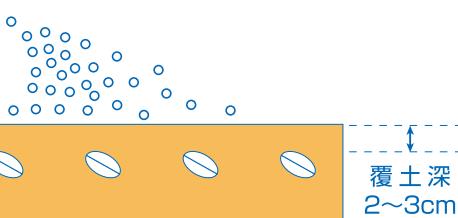
作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	10アール当り 使用量(kg)	使用回数*	使用方法	適用地帯
小麦(春播栽培)	畠地 一年草 雑草	は種後発芽前 (雑草発生前)	全土壤 (砂土を 除く)	4~5	本剤：1回 ジフルフェニカン：1回 トリフルラリン：2回	全面土壤散布	全 域
小麦(秋播栽培)		小麦1~2葉期 (雑草発生前～発生始期)					
大麦(秋播栽培)		は種後発芽前 (雑草発生前)					全 域 (北海道を除く)
		大麦1~2葉期 (雑草発生前～発生始期)					

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

## ■使用上のポイント

### 小麦・大麦は種後発芽前処理

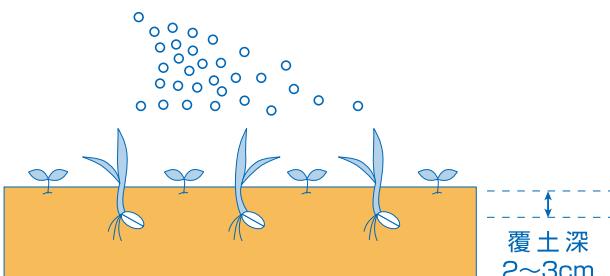
- 使用時期: 小麦・大麦は種後発芽前  
(雑草発生前)
- 使用方法: 土壤表面に全面均一散布



※ 碎土、整地は丁寧にし、覆土は細かく碎いた土です。 ※ 覆土深は必ず2~3cmとし、鎮圧する。

### 小麦・大麦1~2葉期処理

- 使用時期: 小麦・大麦1~2葉期  
(雑草発生前～発生始期)
- 使用方法: 土壤表面に全面均一散布



## ■注意事項



- 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、時期を失しないように散布して下さい。  
なお、雑草の発生が早い場合は早めに散布して下さい。
- 碎土、整地は丁寧に行い、覆土深が2~3cmとなるように細かく碎いた土を用いて丁寧に覆土を行って下さい。
- 砂質土壤での使用は、大麦に対して薬害を生じるおそれがあるのでさけて下さい。
- 水田裏作の麦類に使用する場合、排水不良田等土壤がしめりすぎていると碎土や覆土が不十分となり効果むらや薬害の原因となることがあるので、過湿状態での使用はさけて下さい。
- 秋播きの麦類に使用する場合、土壤残効が長いので年内中に散布を終えて下さい。
- 本剤の使用により麦の葉身に白化が見られますが、その後出てくる葉には白化は認められず回復し、麦の生育、収量には影響が認められていません。
- 散布薬剤の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生じるおそれがあるので、散布の際に隣接作物にかかるないように注意して下さい。特に風の強いときの使用はさけて下さい。
- 本剤を散布した圃場で後作物を栽培する場合には、耕起を十分に行って下さい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにして下さい。
- 本剤は靴、作業着等に付着すると着色するので取り扱いに注意して下さい。
- 本剤散布に用いた器具類は、使用後できるだけ早く水でよく洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないように注意して下さい。

- 使用量に合わせて秤量し、使いきって下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 通常の使用方法では危険性が低いですが、誤食などのないように注意して下さい。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに十分に水洗い、眼科医の手当を受けて下さい。
- 敷設の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(魚類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 敷設器具の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密封して保管して下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎ 0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00  
土日祝日および会社休日を除く

F-3009 22.05.NY

